

No	18	分類	2-(2)-ア	資料名	いっつもそうや	学年	4 年	領域	道徳	2-(3)
----	----	----	---------	-----	---------	----	-----	----	----	-------

1 ねらい

- 偏見や思いちがいから、固定的な見方や決めつけをすることの誤りに気づき、不合理を見抜く主体的な態度を身につける。

2 趣旨

- 決めつけや偏見で相手を見ずに、個性やよさを認めようとする態度を育てていくことは、互いを正しく知ることにつながり、ひいてはいじめや差別のない学級づくりにつながる。
- 「モズのはやにえ」(※)をみんなに教えてあげようとする「ようこちゃん」の気持ちを理解させ、一方的に自分の偏見をぶつけていくふみくんの誤りに気づかせる。そして、ふみくに屈せず、自分の意見を言い切る「ようこちゃん」や正しいことを主張し、彼女を擁護する友だちの姿を通して、偏見を見ぬき、それを正そうとする態度を養う。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 バッタのくしざしをみんなに見せようとした「ようこちゃん」の気持ちを考える。	
「ようこちゃん」は、なぜ「バッタのくしざし」を学校に持ってきたのでしょうか。	
・学校の人に見せようと思ったから。 ・みんなも驚くだろうと思ったから。	・バッタのくしざしを見たひろみちゃんの驚きから、学校の人にも教えてあげようとしたようこちゃんの気持ちに気づかせる。
2 ふみくんの言動に対する「ようこちゃん」の気持ちを考える。	
「ようこちゃん」は、ふみくんに対してどんな気持ちになっているのでしょうか。	
・わたしのことを信じてくれない。 ・何かあるといつもわたしを悪く言う。 ・いっつもそうや。	・日頃からふみくんがようこちゃんに対する偏見をもっていることから、ようこちゃんがつらい気持ちになっていることを捉えさせる。
3 周りの子の言動から、「ようこちゃん」の気持ちを考える。	
まいこさんたちの言葉を聞いて、「ようこちゃん」はどんな気持ちになったのでしょうか。	
・わたしの気持ちを分かってくれている。 ・わたしの力になってくれてありがとう。 ・ふみくんにはっきり「ちがう」と言おう。	・自分の気持ちを理解してくれる友だちの存在が心強く、自分の意見を言い切ることができたようこちゃんの姿に共感させる。
4 身の回りの課題について考える。	・日常生活を振り返らせ、身近な人に対して、固定的な見方や決めつけなどがないかを考えさせる。

4 参考

- ※「モズのはやにえ」とは、モズが秋に虫などを捕らえて、餌として木の枝に貫いておくもの。翌春、他の鳥の餌に供されてしまうので「はやにえ」と言う。(広辞苑から)